

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者） 乗用車販売店（従業員）	販売量の動き お客様の様子	・よく売れている。これからも増える。 ・全体的に様子が良い。問い合わせ件数が多く、販売量も多い。季節と関係なく動き出しており、良く売れている。手ごたえはかなり良い。
	やや良く なっている	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当） 一般小売店〔土産〕（経営者） 一般小売店〔土産〕（経営者） スーパー（営業担当） コンビニ（店長） 衣料品専門店（経理担当） 衣料品専門店（販売企画担当） 乗用車販売店（従業員） 乗用車販売店（従業員） 住関連専門店（営業担当） その他専門店〔雑貨〕（店員） 都市型ホテル（営業担当） 旅行代理店（経営者） 旅行代理店（経営者） 旅行代理店（経営者） 通信会社（営業担当） 住宅販売会社（従業員）	販売量の動き 販売量の動き 来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子 販売量の動き お客様の様子 販売量の動き 来客数の動き 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子 販売量の動き 販売量の動き お客様の様子	・中元商戦が始まる。東日本大震災直後の前年の中元期より良いだろうとの楽観的な見方もあるが、実態は前年と同様である。 ・堅調に推移している。 ・ここ数月の来客数の推移からは、やや良好になっている。ただし、前年同月比を見ると、前年は高速道路無料化社会実験の恩恵を受けており、比較にならない。やっと前々年の水準に近づいた状況である。 ・単価は上がらないものの、販売量はやや多くなっている。地産地消品、プライベートブランド品が動いている。 ・来客数、販売量共に3か月前よりは伸びているが、気温があまり上がってこないということで、飲料水、アイスクリーム等の販売が今一つである。 ・特にない。 ・景気の良い客とあまり良くない客が、はっきりしてきている。多くの客の景気は良くない状況であるが、一部の客ではそれ以上のペースで売上が伸びている。 ・新型車の発売と、エコカー補助金の終了が夏頃になるという予測から、来客数が増え、市場の盛り上がりを感じる。 ・自動車の新車販売の売行きが、現実には多少良い。客との会話でも、意外にも景気の悪い話題は少ない。 ・持家住宅、賃貸住宅共に上昇している。消費税増税を前提とした駆け込み需要もある。また、今まで抑えていた需要が出てきている。併せて、民間の設備投資の工場、オフィスなども出始めている。 ・中心街での歩行者天国が回を重ねる度に、街への集客数は増えてきている。 ・客の予約は非常に好調に推移している。法人需要は3か月前と比べても多くなっている。前年同月比で見ると、20%増である。 ・客からの問い合わせや予約が増えてきて、動き出している実感がある。 ・東日本大震災の影響はほとんどなくなり、旅行を手控えていた企業や個人客に動きが見られる。前年を除いた例年以上にはなっていないが、若干ながら上向き傾向にある。 ・夏の予約は順調に推移している。 ・次世代ネットワークの付加サービスが伸びつつあり、今後も伸びる。 ・ゴールデンウィークの客が、現在、購入に向けて打ち合わせをしている。4月と比べると敷地の調査件数も増え、今後の契約は増えてくる。
変わらない		商店街（代表者）	お客様の様子	・株価が下がっているので、購買マインドはあまり良くない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価はますます低くなるばかりで、当然、販売量、販売高にも跳ね返ってきていない状態である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年ゴールデンウィークには販売量が増えるが、今年に限っては場所によってはばらつきがあり、単価も低い。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・飲食店への来店が、前年同月と比べて悪い。

一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークのためか、小売業は暇であり、商売になっていない。テナントビルに入っているオーナーも、どうなってしまったのかと首をかしげている。天候不順も追い打ちをかけている。薬業界ではかぜ、鼻炎が終わり、暇な状態である。
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価も低い。
一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・今年の母の日は来客数、売上共に前年の80%と大きく落ち込んでいる。しかし、スーパーでの販売は横ばいで推移している。ついで買いや価格の低い商品を望む傾向にある。
一般小売店〔惣菜〕（店長）	販売量の動き	・前年同月と比べると、来客数はもちろんのこと、販売単価、数量の買い控えがまだまだ多く見られる。前年より良くするためにDM発送等で試行錯誤をしているが、目標金額には程遠い。
一般小売店〔果物〕（店員）	販売量の動き	・特にない。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・朝晩の気温が低く、例年より寒く感じられるため、半袖などの夏物ファッションの動きが悪い。買い控えも続いている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・5月の前半、ゴールデンウィークが終わるころまでは、来客数が結構あり、購入意欲のある客も多かった。4月の下旬から新社会人が来店するようになり、来客数も増えているが、5月後半は厳しい日が続いている。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・高額品やその他に関係なく、目的のブランドのみを購入する傾向が続いている。
百貨店（店長）	販売量の動き	・婦人服売場のショッピング顧客の来店買上が堅調である。
百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・宝飾品や時計など高額品への需要は高いが、服飾やセール品への動きが鈍い。百貨店の主力商材で稼ぎ切れていない。
百貨店（営業企画・販売促進）	お客様の様子	・流行には飛びつくが、全体がかさ上げされているとは言えない。きっかけがあれば購買への衝動は起きるが、基本的には消費意欲が停滞していることの裏返しと言える。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・カード優待等のイベント時に集客が集中して、その前後は売上が激減という動きが続いている。結局トータルで見ると変わらない。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・この地域の高齢化比率はますます上昇しており、各小売店、例えばスーパーの客は減り、買上単価も低くなっている。一方、地域の総合病院等は高齢患者が増え、公的負担もますます増え、地域の生産性は低くなっている。このような状態では、景気はまだまだ良くならない。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・特にない。
スーパー（店長）	単価の動き	・単品単価の下落は、まだまだ続いている。買上点数が若干増えるようなところはあるが、まだ客単価全体を押し上げるようなことにはなっていない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・一般食品のノーブランド商品などは、安い時に買うのが当たり前という買物行動が身に付いている。生鮮食品は、鮮度や品質の価値を重視した買物行動である。
スーパー（店員）	単価の動き	・夏の果物が店頭に並ぶようになり、単価の高いスイカなどを買って求める様子が見受けられるが、かといって1日の売上は3か月前とあまり変わらない。
スーパー（店員）	単価の動き	・前年同月と比べて来客数は変化していないが、1人当たりの単価は下がってきている。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・売上は前月よりも3%ほど悪い。イベントや仕掛けの曜日違いのためか、前年同月比は悪化傾向にある。客の商品単価も96%と下がっている。特に食品が不振である。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・東日本大震災から1年が経過したが、4月に続き悪い状況で変わらない。総合スーパーと比べてスーパーマーケット業態の悪化が特に目立ち、二極化が進んでいる。食品に対して衣料、住関連の悪化も目立つ。
コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・特にない。

コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・相変わらず来客数が前年割れの状況にある。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗での売上は、前年同月をクリアしている。この状況は前月と同様に継続している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・気候がやや落ち着いてきたせい、3か月ぶりに前年同月の売上をほんのわずかではあるが上回っている。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・毎年のことであるが、連休の後は来客数が減り、初夏物の動きが悪くなっている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・故障したから買換えるという需要以外は、ほとんどない。
家電量販店（店員）	単価の動き	・来客数の動きは以前とあまり変わらないが、単価である。やはり根底には強烈的な節約ムードがある。それに対して各メーカーが販促活動をするので、一見華やかには見えるが、実際の購買となると財布のひもはやはり固い。それを実感している。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・前月から引き続き、来客数は前年同月の水準にまでは戻っておらず、5年前と同様の売上規模になっていることを考えると、単価の下落、来客数の減少は今後も続く。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・今まで普通車に乗っていた人が、軽自動車に買換えるケースが増えてきている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・エコカー補助金効果で、今月も販売台数は目標をクリアできている。やはり補助金の追い風は大きい。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・エコカー補助金の関係上、新車購入の客はあるが、来客数は少ない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金もあり、販売台数は前年より好調に推移しているが、前年は東日本大震災等の影響もかなり低迷していたことを考えると、決して満足できる数字ではない。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・特にそれほど良くもないし、悪くもなっていない。期待値でいくと、もう少し良くなってほしい。エコカー補助金もあったが、それほど良くなさそうである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ほとんどの車種でモデルチェンジを控えているため、販売台数は伸び悩んでいる。来客数もゴールデンウィーク明けからそれ程増えてはいない。逆に自動車重量税が今月から安くなっているため、車検の入庫台数が予定をはるかに超えている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新型のドイツ車がデビューしたが、在庫がなく、思うように販売台数は伸びない。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・客は価格を判断し、安い日とそうではない日を見極めて購入しているの、平均すれば同じである。
一般レストラン（従業員）	お客様の様子	・毎年ゴールデンウィークは家族連れ客でにぎわうが、今年は前年比で約70%である。静岡では第二東名高速道路が開通し、サービスエリアのグルメ巡りが家族連れで行きたい場所ナンバーワンであった。その影響で、例年より静かなゴールデンウィークである。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	単価の動き	・大型連休で休みモードなので、毎年この時期はあまり期待できない。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・販売数も予算もあまり変化がない。
旅行代理店（経営者）	それ以外	・東日本大震災の影響に関しては回復に向かう傾向にあるが、原子力発電所の後始末に終始しており、肝心の経済対策は無策のままであり、世界経済の流れに置き去りにされている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行の申込は順調であるが、国内旅行、特に夏休みの旅行の申込は今一つ伸びが悪い。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの取扱量は、前年比150%である。春先の仕事も、企業の周年行事で旅行を実施する企業が多く見られ、継続的に良くなっている状態が続いている。営業マンも忙しい日々を送っており、取扱量は高い水準で変わらない状況である。
タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前や半年前から、夜の繁華街で飲み歩いている人の数が非常に少なく、活気がない。飲みに来ている人数や街を歩いている人数が少ない。

	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は前半のゴールデンウィークに出費があったと思われ、連休後は特に夜の飲み屋街の客が少なく、売上は落ち込んでいる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・特にない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜の街の入出は相変わらず少ない。このままのような気がする。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・3か月前は2月であるが、正月明けの時期でもありかつ新年早々のお祭り時期が終わり、落ち着きかけた月でもあった。しかし、その後に来客数が増えるわけでもなく、来客数はほとんど変化がない。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3か月前との変化は感じられず、景気はあまり良くならないまま推移している。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・今月の来場者数は、現在のところほぼ予算通りであり、前年同月を上回っている。5月は年間で一番高い予算を立てる月で、3か月前と比べると倍ぐらいの来場者があり、来場者に関してはそこそ順調に入っている。現在、売上は予算を少し下回っており苦戦しているが、前年同月の売上はクリアできる。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・今はUV関係の化粧品が多少出る程度で、例年通りである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客にゴールデンウィークの過ごし方などを聞いてみたが、出掛けた人は少なく、出掛けても近場で済ませる人が多かった。
	その他サービス [介護サービス]（職員）	販売量の動き	・4月より一部サービスで値下げを試み、新規取引先を開拓中であるが、売上実績へはなかなか反映してこない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・特に大きな変化はない。受注は落ち込んだままである。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィークをはさんで、客単価は下がり始めている。主力売店での販売箱数は増加しているが、6個入りの箱と10個入りの箱の販売比率が崩れてきている。10個入りの箱は前年並みであるが、6個入りの箱がゴールデンウィークごろより急速に伸びている。
	一般小売店[食品]（経営者）	販売量の動き	・来客数は普段と変わらないが、客単価がこのところ低くなっているのが目立つ。景気が上向きのように思われがちであるが、収入がそれに伴っていないようで、売上も前年同月をやや下回っている。
	一般小売店[自然食品]（経営者）	お客様の様子	・全体的に安価なほうを選択する傾向にあり、値段設定の高い食品は敬遠されている。
	一般小売店[贈答品]（経営者）	それ以外	・仕入れ値は上がっているが、販売代金は上がらない。売上は維持できて、仕入れ値が高くなっているため、全体的にはマイナスである。販売価格に仕入れ値を転嫁できない状況が、販売店では続いている。
	一般小売店[和菓子]（企画担当）	販売量の動き	・特にない。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、店頭売上は3%程度落ち込んでいる。必要な物以外は購入を控えている。
	百貨店（販売担当）	販売量の動き	・天候不順を除けば特に悪くなる理由はないのに、ここ数か月のなかで一番厳しい商況に、今月は変化している。来客数に対する購買率や購買単価の低迷が続く、特にファッション関連が厳しく、売上点数は減少している。原因がつかめていないことが従来と異なる点で、この先への展望も見えていない。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・各小売店では、客になかなか来てもらえない。特に最近、来客数が悪い。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・売上は前年同月を超えているが、それは買上点数の増加により、客当たりの買物単価が上昇しているからである。来客数は減少中である。来客数の増加又は維持ができない限り、良い傾向ではない。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・買上点数の動きが非常に悪く、少ない量しか買っていない。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・生鮮食品、加工食品の売上は2%ほど落ちている。生鮮食品の夕方の見切り販売も人気がない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・他エリアと比較して、来客数の前年同月比は2.5%程度低い。

コンビニ（店長）	来客数の動き	・当店は繁華街にあるが、最近の繁華街は人出が少なく、夜に出歩く人も少なくなっている。したがって、当店の売上、来客数にも影響が出ている。	
その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・客の買上率が悪い。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・土日・祝日の来客数は回復しているが、平日のディナー客数は大幅に減少している。企業の需要が落ち込んでいる。	
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・客から、同業者の閉店が相次いでいるとの話を耳にする。	
スナック（経営者）	来客数の動き	・連休が続き家族サービスが中心となる今の時期は、例年通り来客数が減少し厳しい。	
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・2月と比べると3、4月は、復興需要で勢いがあった。今月に入ってからは、前年と変わらない数字である。前年と同じということは、東日本大震災直後と変わらないということであり、現在の景気は弱い状態で推移している。	
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・特需による宿泊者数の増加が一巡し、一時のような伸びはなくなっている。いまだに一般宴会が戻ってこないうちは、全社的な予算確保は難しい。	
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・客の動きは、一喜一憂の感がある。安定して景気回復や良い方向に向かっているとは思えない。	
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊客数は減少傾向にあり、単価も低い。レストランも、夜を中心に弱含みである。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数の落ち込みが激しく、解約数も横ばいである。近隣の同業者は更にひどい状況のようである。	
通信会社（サービス担当）	競争相手の様子	・スマートフォン等のタブレット端末の普及により、インターネット回線の注文が増えている。その反面、価格の安い他社への乗り換えも多い。	
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きと単価の動きから判断している。	
理美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は徐々に暖かくなってきて、客が来てくれるような時期であるが、あまり客が来ない。	
美容室（経営者）	競争相手の様子	・不景気が一番の理由である。	
設計事務所（職員）	来客数の動き	・建築業界は非常に厳しく、建築事務所はかなり廃業している。	
設計事務所（職員）	お客様の様子	・客に話を聞くと、業者を含めて忙しいが、なぜか景気は良くないとの話である。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税率が上がる前に購入するか、もう少し待って値下がるのを取るかで、客の動きは非常に悪い。	
その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	お客様の様子	・5月のゴールデンウィーク等の住宅展示場でのイベントでは、新規客の来場が少なく、期待に大きく反して新規客を獲得できていない。非常に悪い。	
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・5月に入り、売上はかなり落ち込んでいる。これまで経験したことがないほどの落ち込みで、非常に厳しい。
	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	販売量の動き	・販売単価が下がったことと、地上デジタル放送化が完了したことの反動で、かなり悪い。
	一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・今月はゴールデンウィークがあるので期待していたが、休みが多い割には前年同月と比べて今一つである。その流れがゴールデンウィーク明けにもあり、客にお金がないということ、買う量からひしひしと感じている。前年と比べて、本当に少なくなっている。26日以降は給料日後ということもあり、ようやく普通に返ってくるのではという気配もある。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が明らかに減少してきている。前年同月比を見ても、今までは100%を超えていたが、5月からは100%を割る店が増えてきている。
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・売上は前年同月を下回っており、まだ景気の底ははっきりしない。消費者の節約志向はまだ解消せず、苦戦が続いている。
	テーマパーク（職員）	それ以外	・近辺の土産店が閉店するなどしている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・今月は少し寒かったせいで客の出足が鈍くなり、悪い。
	理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、景気の良い話はない。また、安い店に客が流れている。

		住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・建築に関わる業者から他社の様子を聞くと、他社も悪いということである。
企業 動向 関連	良くなっている	窯業・土石製品 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・売上は1月期と比較して26.7%増加している。
	やや良くなっている	紙加工品[段 ボール]製造業 (経営者)	取引先の様子	・当社の主要顧客である自動車部品梱包用の段ボールケースが増加傾向である。また、食品関係の顧客向け段ボールケースも増加している。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・3か月前と比べて、少しずつ受注量、販売量が増加している。
		出版・印刷・同 関連産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・夏季の集客に向けた宣伝広告予算は、前年に比べて積極的である。
		化学工業(企画 担当)	受注量や販売量 の動き	・前年の東日本大震災と放射能への懸念に伴う海外特需はないものの、4月の受注は、期末と比べて月割予算を若干超えた結果となっている。
		電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・東日本大震災後の復調、増産の影響が若干出てきている。
		輸送用機械器具 製造業(品質管 理担当)	受注価格や販売 価格の動き	・客先の様子と受注、生産係数から判断している。
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・不動産開発業では、新規住宅の販売、来場、申込などにより、順調に景気回復している。
		輸送業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・自動車の生産が好調なため、愛知県内の部品メーカーの出荷が増えている。また、荷動きが活発ななかで、倉庫が不足気味となってきた。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・売上の前年の3か月前比は7.4%、今年の同比は+4.0%と、11.4%も良くなっている。前年は東日本大震災の影響で大きな落ち込みがあったが、今年は何とか持ち直してきている。
		金融業(法人営 業担当)	取引先の様子	・高水準での国内自動車生産が続いており、取引先の部品メーカーでもほぼフル生産の状況にある。
	会計事務所(社 会保険労務士)	取引先の様子	・毎月法人の決算をしているが、業績が上がってきているところが多い。売上、利益共に増えてきている。	
	その他サービス 業[ソフト開 発](社員)	受注量や販売量 の動き	・5月に入り、営業提案が活発で、外部委託の調達依頼は前月より倍増している。	
変わらない	食料品製造業 (経営企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・少し明るい兆しが見えかけたところで、欧州危機が再燃し、円高、株安と振り回され過ぎである。身近なところでも、前年と比べると消費意欲は高いものの、依然としてデフレ傾向は続いている。	
	化学工業(人事 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・食品スーパー、ガソリンスタンド等で、広告商品、イベント開催時をねらった消費者が増加している。少しでも安く購入したいという行動の表れである。	
	一般機械器具製 造業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・引き合い、受注件数に大きな変化はないが、円高のため価格競争で負けたり、受注しても利益がほとんどない状況が続いている。	
	電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注量や販売量 の動き	・欧州通貨危機の懸念はあるものの、直接的に製品受注に影響が出てきていると言うほどでもなく、横ばい状況にある。	
	電気機械器具製 造業	受注量や販売量 の動き	・会社を取り巻く環境あるいは業績は、顧客の設備投資に左右されることが大きく、その設備投資が上向きになっていないと感じている。	
	建設業(営業担 当)	取引先の様子	・同業者から聞いている話では、あまり良くないとのことである。この時期は、入札関係、工場関係や一般客にしても、難しい時期と良い時期が重なっている。	
	輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・前年の同時期と比較して、輸出はやや減少、輸入はやや増加の傾向が続いている。	
	輸送業(エリア 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・荷物量は減っていないが、荷物のトン当たり単価がじわじわと落ちてきている。軽油などの値段の動きと連動しているようで、軽油の値段が3月ごろから落ちてきているのと同時に、荷物のトン当たり単価も落ちてきている。景気が良い悪いという問題ではなく、そのような状況にある。まだまだ荷物量は減っていないが、景気が良い悪いという判断がしづらい傾向が出てきている。	

	金融業（企画担当）	取引先の様子	・米国経済は底堅いものの、ギリシャ問題を中心とした欧州債務問題、円高の継続により、個人を中心とした投資家は含み損が多い。	
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・3か月前と状況は変わらないが、来年度に向けてオフィス需要につながる固定費の圧縮の話が舞い込んでいる。将来的には、景気は下降するのではないかと思う。	
	企業広告制作業（経営者）	それ以外	・大学生の就職率に改善が見られない。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・これといって、企業側にも新しい動きは見られず、状態はほとんど変わっていない。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告の出稿量が減少傾向にある。	
	公認会計士	それ以外	・会計事務所のクライアントの業績に関して、製造業の一部の会社では操業度が向上し、業績回復傾向が見られる。しかし、全般的には多くの中小企業の業績は厳しい状況である。	
	経営コンサルタント	競争相手の様子	・依然として求人倍率は思わしくなく、住宅取得意欲も低いままなので、地価水準は低迷したままの状態である。	
	行政書士	取引先の様子	・機械据え付け技術料などを値引きして、運賃の中に入れてしまう状況にある。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・小売業では、目玉商品で広告を出してもそれしか売れないとぼやいている。安い物は買ってくれるが、他の商品には慎重であるとのことである。消費者の財布のひもは結構固いようである。建設業では、消費税増税を待ちわびている。金額が大きいだけに、決まれば受注は増えるようである。	
	その他サービス業〔広告印刷〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・活気はないが、そこそこ動きはあって、次の段階に伸びてほしい。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・予想通り円高に振れてきている。今後、この円高がどこまで進むのかが問題で、それにより生産の減少が起きる。この前の円高レベルになると、かなりきつい状態になる。	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・以前と比べると、通常製品へのコストダウン要求が多くなっている。客が生産している製品へのコストダウン要求が強くなっているため、消耗品の価格の見直しも行われている。現在納めている製品と同じものの見積依頼が、他の取引先から来たりしている。	
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・発注タイミングの山谷は例年通りであるが、今年は先行きの仕事が見えていないとこぼすところが多く、実際に受注残も前年より少ない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・パーラー関係の取引先の業績が悪いため、設備投資の仕事が回ってこず、業績は悪い状態である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車分野のみ回復が顕著である。情報通信、FA、工作機分野は足元で見ると弱い。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・円高の影響を受けて、国内の発注量が減っていることに尽きる。	
	輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・例年5月は荷動きが低調であるが、例年以上に悪い。客からの見積依頼は多いが、なかなか成約に至らない。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・母の日までは荷物が多かったが、それ以降は急に前年より荷物が減り出している。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業の下請などに勤務している客が多いが、その人たちから状況を聞いてみると、派遣なども少なくなり、あまり景気は良くない。生産自体も少なくなっていると聞いている。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売買価格の下落は一段落している。	
悪くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量の減少により、売上、粗利共に前年の東日本大震災直後の落ち込みに匹敵する落ち込みを記録している。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・顧客の技術者ニーズは底堅い。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数の動きは、新年度に入り良くなっている。

	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・比較的早く求職者の再就職が決まっていく傾向にある。
	人材派遣会社（支店長）	それ以外	・企業都合での契約終了は、3か月前と比較して35%減少しており、契約継続率は回復傾向にある。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・中小企業からの求人ニーズが増加しており、業種にも大きな偏りはない。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・エコカー補助金の影響で、自動車生産は好調である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加、求職者数の減少により、景気はやや良くなっている。ただし、製造業で増加しているのは一部の業種にとどまること、建設業は消費税増税を想定した住宅の駆け込み受注によるか、耐震補強工事の仕事増の求人であること、また岐阜国体前の道路舗装など期間限定の仕事増によることから、求人増の背景とした求人増である。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ゴールデンウィークは地元の祭りで中心街はにぎわっており、活性化されている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・エコカー補助金の影響を受けて、自動車部品を製造している事業所を中心に新規求人が出されているが、内容は非正規求人が多い状況となっている。また、事業所によっては、夏場の節電により、取引先から生産受注が前倒しされることを予想して、パート等の求人を出す三次以下の下請事業所も見受けられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は引き続き増加傾向が続いているが、先行き不透明から正社員の募集は手控えられており、その他のパート、派遣等の求人が増えている。推薦求人は比率的に半分以下である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の動きが、ここ数か月間はほとんど変わっていない状況であるため、あまり変わっていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は23か月連続で増加しているが、伸び率は鈍化している。
	職業安定所（次長）	求人数の動き	・企業の求人意欲を示す新規求人数は前年同月比で増加を続けているが、正社員求人が増えてこないため、上向きとまでは考えられない。
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・4、5月は大手企業を中心に採用活動制限の動きが見られたが、全体としては大きな変化はない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・日経平均株価が再び9000円を割り込み、回復の兆しは見えない。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は横ばいであるが、新規求職者数は若干数増えているため、有効求人倍率の低下が見られる。
悪くなっている	-	-	-